


4年間の学び		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門基礎分野	<p>人体の構造と機能および心身の発達 すべての基礎となる解剖学や生理学などを学びます。</p> <p>疾病と障がいの成り立ちおよび回復過程の促進 各専門分野別に疾病について詳しく学びます。</p> <p>保健医療福祉とリハビリテーションの理念 コミュニケーションからリスク管理まで、幅広く学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人間発達学 ●運動機能解剖学 ●解剖学I・II ●生理学I・II ●運動学I <p>解剖学I・II 解剖学I・IIでは、身体構造の基礎となる細胞、組織、器官などの基本構造を学び、人体の成り立ちとその機能の関係を理解します。特に運動器(神経系、骨格系、筋系など)に関しては、より深く学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●解剖学実習 ●運動学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●生理学実習 ●運動学II 	<p>理学療法治療学について 運動機能障害診断学や物理療法学、義肢学など実習を含めて学んでいきます</p>	<p>総合臨床実習では医療機関で治療の流れを経験し理解します。卒業研究や国家試験に向けて勉強をおこないます</p>
	<p>基礎理学療法学 理学療法について基本から応用、研究法について学びます。</p> <p>理学療法評価学 理学療法に必要な評価方法、実施について学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●医学概論 ●リハビリテーション医学 	<ul style="list-style-type: none"> ●病理学 ●神経内科学 ●精神医学 ●臨床心理学 ●救急医学 	<ul style="list-style-type: none"> ●内科学 ●小児科学 ●老年医学 ●栄養学 ●整形外科学I・II 	<p>理学療法に関する研究実践を学ぶ 理学療法に関する研究の目的や方法、あり方などを知り、客観的な研究手法としての統計処理を学びます。</p>	<p>チームアプローチおよび理学療法部門の管理運営の理解 他職種との連携などのチームアプローチや理学療法部門の管理運営の実践について学びます。</p>
	<p>理学療法治療学 各疾病別の理学療法について詳しく学びます。</p> <p>地域理学療法学 地域理学療法に必要な知識、実践能力を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●医療と福祉 ●コミュニケーション論 	<ul style="list-style-type: none"> ●公衆衛生学 ●リスク管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●生命倫理 ●レクリエーション論 	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法研究法 ●調査統計学 	<p>理学療法総合演習 各教員の専門分野を中心とした理学療法の高レベルの専門知識を身につけます。(写真は重心動揺測定、筋電図測定など)</p>
	<p>臨床実習 病院および福祉施設にて見学から評価・治療を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法概論 ●理学療法基礎セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動生理学 	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法評価学実習I・II ●理学療法評価学II 	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法研究法 ●調査統計学 	<p>チーム医療論</p> <p>理学療法管理論</p> <p>理学療法総合演習</p>
卒業研究					卒業研究	

理学療法士国家試験 受験・合格

就職・進学


科目PICK UP

PICK UP 01 運動学実習




理学療法の中核となる運動学の実践には運動学の知識が必要不可欠となるため、人の身体運動を機能・構造の視点から、さまざまな機器を用いて分析する方法を学びます。(写真は足の筋力の測定方法を学ぶ様子)

PICK UP 02 調査統計学



科学的根拠に基づいた理学療法の実践には、論文の内容を読み解く力、また自ら研究を実施する姿勢が求められます。この授業では、それら論文読解と研究実施の際に必要な統計学の知識と統計解析の方法を学びます。


PICK UP 03 神経障害理学療法学・実習



脳卒中やパーキンソン病等は、骨折やその他の運動器疾患と等しく、理学療法の対象となることが多い疾患となります。この授業では、それらの疾患に対する理学療法を講義と実技をとおして学びます。

OB・OGの声

理学療法で、患者さんに明るく未来を



理学療法は奥の深い職業であり、治療に役に立つ知識や技術に加え、患者さんやそのご家族の「心」にも寄り添うことが大事だということを、先生から教えていただきました。私は現在、重症な患者さんに理学療法をおこなっていますが、担当している患者さんが日々回復していき、笑顔を取り戻していく姿を見たときにはやりがいを感じます。これからも、患者さんのためにより良い治療アプローチを考え、知識・技術の向上に努めていきたいと思っております。

神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部
後藤田 瑞樹 さん
保健福祉学部 理学療法学科 2017年卒業